

正倉院学術シンポジウム 2009

「皇室と正倉院宝物」

平成 21 年 10 月 31 日(土)

主催 奈良国立博物館

後援 読売新聞大阪本社

会場 奈良県新公会堂 レセプションホール

参加定員 280～300 名（事前申込制、希望者多数の場合は抽選）

本年10月24日（土）～11月12日（木）、毎秋恒例の『正倉院展』が奈良国立博物館を会場として開催されます。当館では2005年以来「正倉院学術シンポジウム」を同展会期中に開催してきました。研究発表の内容が新聞紙上で紹介されるなど、各種メディアからも注目を集めた過去四回の成功をうけ、本年もこのシンポジウムを実施するはこびとなりました。

本年は今上天皇の即位20年にあたります。これを記念して今回のシンポジウムでは、正倉院宝物が皇室によって東大寺大仏に献納された品々を起源とし、嚴重なる勅封によって今日まで守り伝えられてきた事実に注目し、皇室と宝物の關係にスポットをあてることとしました。当日は四名のパネリストによる報告と、討論会を行います。

当シンポジウムが、正倉院宝物が日本文化史に果たしてきた大きな役割と、その今目的意義が、より広く、より深く認識されるきっかけとなれば幸いです。

応募要項

参加費：無料

応募締切：10月26日(月)消印有効 往復はがきによる、郵送に限ります。

- [正倉院シンポジウム聴講希望] と明記の上、
[氏名・住所・郵便番号・性別・年齢] を記入して下さい。
- 返信用はがきには宛名を記入して下さい。
- はがき1枚につき申込者1名としてください。

応募・お問い合わせ先

〒630-8213

奈良市登大路町 50

奈良国立博物館 学芸部企画室

TEL 0742-23-5962 FAX 0742-22-7221

(受付時間：月～金、午前9時時30分～午後5時まで)

スケジュール

13:00～13:05 ご挨拶 湯山賢一（奈良国立博物館長）

第一部 研究発表

13:05～13:35 「奈良朝の宮廷生活」

清水健（奈良国立博物館研究員）

13:35～14:05 「孝謙天皇と正倉院宝物」

野尻忠（奈良国立博物館研究員）

14:05～14:35 「正倉院宝物の模造—その歴史と意義—」

西川明彦（宮内庁正倉院事務所保存課整理室長）

14:35～15:05 「正倉院宝物と宮中の年中行事」

米田雄介（元宮内庁正倉院事務所長）

15:05～15:15 休憩

第二部 ディスカッション「皇室と正倉院宝物」

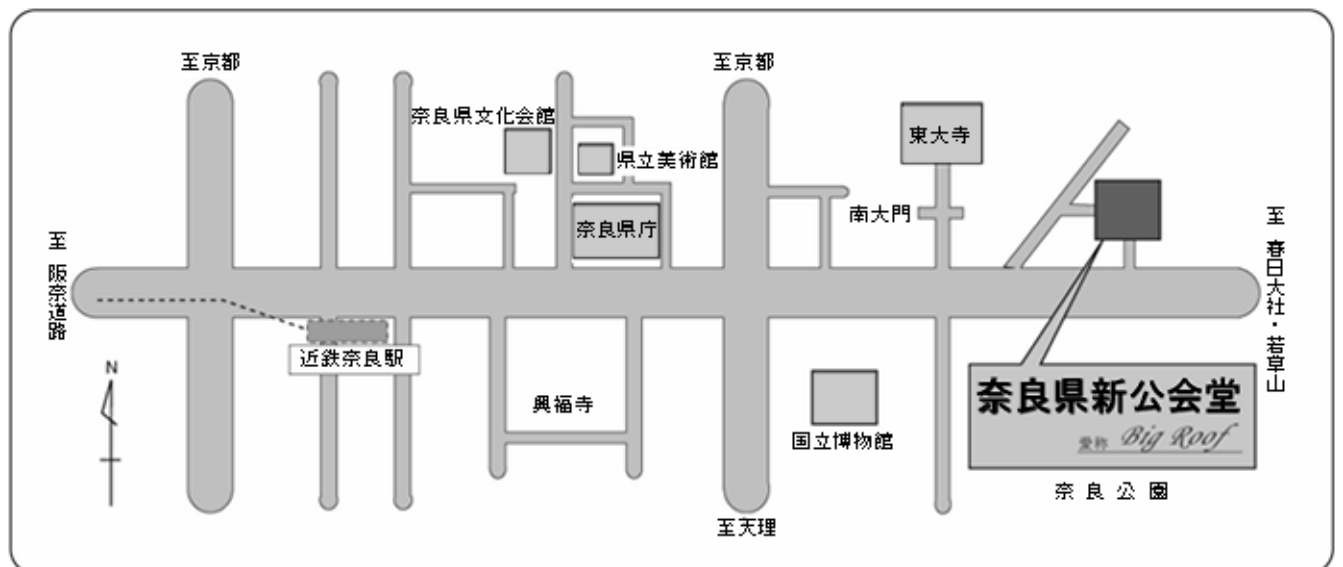
15:15～16:45

パネリスト 清水健・野尻忠・西川明彦・米田雄介

司会進行：戸田聡（読売新聞大阪本社記者）

16:45～16:50 ご挨拶 畑中裕良（奈良国立博物館副館長）

会場アクセス



■近鉄（奈良線・京都線）「奈良駅」下車 東へ徒歩20分

■JR（関西本線・奈良線）「奈良駅」から奈良交通バス
（市内循環）「大仏殿春日大社前」下車 東へ徒歩3分

奈良県新公会堂 外観

